

## 続ボラッチョ・ボニートのメキシコ便り(No.52)

### 「髑髏が沢山やってきた」

・・・髑髏の独り言・・・

「10月の下旬から11月の前半にかけて、メキシコ市内では髑髏(ドクロ)というか、骸骨(ガイコツ)が至る所  
に出現する。ホラー現象や、ボラッチョ・ボニート氏によるホラ? 話しではない。」

このような書き出しで、当便り、「去りし者と死者には、友は殆どなし?」(No.24)で、昨年、当地の行事を紹介したが、早いもので早くも1年が過ぎた。

これらの骸骨類は、11月2日の「死者の日」といって、亡くなった人々を暖かく迎えてなし、手厚くお送りするという、一連の行事が行なわれる日に飾り立てる、オフレンダと呼ばれる祭壇を飾り立てる重要な小道具の一つである。

子供の頃、ナスやキュウリで牛や馬を作って、仏壇に供え先祖の供養をした、日本の「お盆」のような行事を思い起こすが、お盆がどちらかと言うと、静かに行なわれるのに比べ、こちらの方の催しはよりお祭り気分が漂っている。

いわば、死者の日の行事は、戻ってきた死者を迎えて、この世の人もあの世の人もみんなと一緒に楽しみましようよ、お祭りしましようよと、陽気で楽しいお祭りとして、死者は「日々疎し」などの特別な存在ではなく、心の中で生者と共にあるという感じなのである。

この祭りを盛り立てる主役が、まさにこれらの髑髏類で、現にまだ生存している有名なプロレスラーや、サッカー選手まで髑髏にされて商品として展示されたり、売られている。

今年は、メキシコ国内最高学府の、メキシコ国立自治大学(UNAM)で講義を実施した時期と重なり、大学の構内にもこのオフレンダが飾って合ったので、講義の間の話作り一つとして、日本の「お盆」と当地の「死者の日」の飾りの違い、時の過ごし方、文化の相違などについて聴講生に話した。

このお祭りの起源を遡れば、アステカ時代に存在していた死者の為のお祭りに、スペインに征服されたメキシコがキリスト教に改宗させられたとき、カトリックの祭日とアステカの祭りが融合されて、現在の「死者の日」になったという。



各部門が趣向を凝らした配属先の  
オフレンダ

そして、その前夜祭が10月31日のハロウインで、これは異教徒ケルト人の習慣が元になっているという、三民族の競合ぶりであるが、これらの諸事例を、強者による弱者の文明破壊の悲しい歴史の不誠実とみるか、あるいは文明の見事な融合の例と見るかは、日本と近隣諸国間の歴史観の相違の例と同じように、人それぞれの歴史観に関する考えで異なってくる。

ついでに述べると、イエスが茨の冠をかぶり、十字架を背負って登ったゴルゴタの丘は、「髑髏の丘」の意といい、キリスト教徒の多いメキシコでは髑髏類に対しては特別の思い



憲法広場(ソカロ)で開催された  
死者の日オフレンダの展示会場

入れを持っているのかもしれない。

事前に準備したわけではなく、いわば即席でこの話題を持ち出し、聴講生にこのあたりの歴史観を問いかけたのだが、研究職の彼らは、日本とメキシコの行事の相違には興味を示したが、文化の混交については余り意見が出なかった。日本でも和洋折衷と称して、他文化でも心にも留めずに取り入れていると同じではなかろうかと思った次第である。

ボラッチョ氏は、髑髏が氾濫するこの時期になると、若かりし学生の頃覚えた、日本では当時反戦歌として歌われた、あるメロディーを自然と口ずさんでしまう。

1 大砲の上にしゃれこうべが  
うつろな目をひらいていた  
しゃれこうべが ラララ いうことには  
鐘の音も聞かずに死んだ

2 雨にうたれ 風にさらされて  
空のはてをにらんでいた  
しゃれこうべが ラララ いうことには  
おふくろにも会わずに死んだ

3 春が来ても 夏が過ぎても  
誰も花をたむけてくれぬ  
しゃれこうべが ラララ いうことには  
人の愛も知らずに死んだ

「しゃれこうべと大砲」(イタリアのシチリア民謡、  
日本語詞: 東大音感合唱団)



レフォルマ通りで展示されていた、各種のオブジェの一つ。今年は独立や革命にちなんだ物が多かった。恐竜と鉄砲を持った革命戦士の骸骨

淡々とした歌詞と音調の背後にある、壮絶な人生を思い起こさせる歌で、このような世の中になって欲しくないと、  
いう思いが、改めて頭の中を過ぎるのである。

11月2日は配属先は休日だったので、過去にいろいろ関わった方々の思いを馳せながら、老妻に呆れられつつも、時々、「しゃれこうべと大砲」のメロディーを口ずさみつつ、死者の日に食べる、甘パンをつまみとして、テキーラの杯を何時にも無く多く重ね、死者の日を過ごしたのであった。

(2010年11月15日、UNAM の講義が終わり、先週は国立工科大学(IPN)で、講義を実施しました。多分これが最後の講義となると思います。)



メキシコ近郊の市、トルーカで購入した各種のお菓子や髑髏の人形



道端で売っている、ハローウィン用グッズ

次のページも見てください

